

---

# A グループ

---



## NPOグローバル・スポーツ・アライアンス(GSA)



ケニアへ人力発電機器を寄贈・啓発活動実施

- 東京都渋谷区南平台町4-8-207
- 03-3461-3082
- 03-3461-3083
- <http://www.gsa.or.jp>
- 事務局 大窪 健司

### 活動名

スポーツ界でのグリーン電力活用促進事業

### 助成活動紹介

スポーツ界でのグリーン電力活用普及を目標に啓発活動を実施。自転車人力発電機を3台作成。「エコプロダクツ展」などの環境イベントや「ツール・ド・三陸」などのスポーツイベントで電気を作る事の大変さ大切なことを身をもって知ってもらう人力発電体験会を実施。発電量を管理し共有できるアプリを開発。自転車だけでなくいろいろなスポーツで発電することを考えるコンテストの実施に向けワーク中。ケニアへ人力発電体験機材を寄贈、啓発活動を実施しました。

### 3年間の成果

スポーツ界でのグリーン電力活用促進を図るため、まずはクリーンエネルギーへの注目を高めるためスポーツを基盤とする人力発電機器を開発し啓発活動を実施。人力発電体験会などの活動を通しての知見の蓄積により普段のトレーニングの中での発電・蓄電ができるシステムの構築への道を開くことができました。

#### 団体から一言

担当者：GSA事務局長 大窪 健司

地球温暖化防止のためグリーン電力の活用は有効な手段です。スポーツ界でのグリーン電力の活用はまだまだだと感じています。日々のトレーニングのエネルギーを電力に変え普段の生活に活用できれば素晴らしいと思います。



2017年も「アースデイ東京」「エコプロダクツ展」でのブース出展、発電体験実施を予定しています。

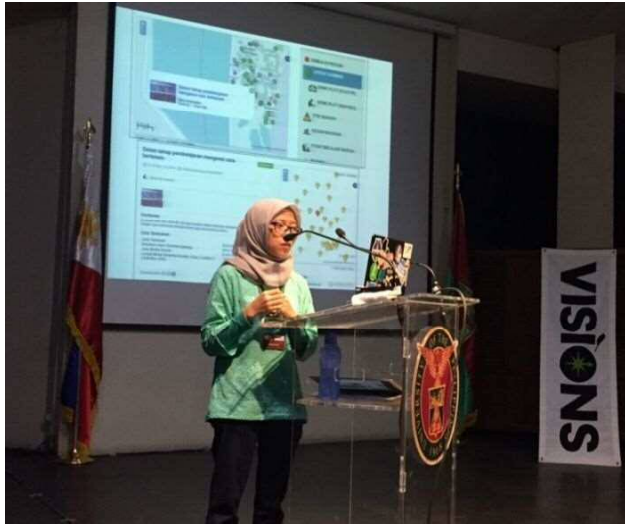
### 連携・提携先

NPOグリーンパワーファクトリー  
株式会社スカイ電子  
フリービット株式会社  
岩手県大船渡市体育協会  
東海大学体育学部  
国連環境計画(UNEP)  
スポーツ庁 Sport for tomorrow など

### 情報求む！

自転車だけでなくナフトビなど身近な運動やいろいろなスポーツで効率よく発電・蓄電できるアイデアがあればお知らせください。

# BeGood Cafe NPO法人ビーグッドカフェ



インドネシアの地域活動について発表する登壇者

〒154-0024  
東京都世田谷区三軒茶屋2-17-10 ワタナベビル4F Smile Studio

☎ 03-6413-8801

📠 03-6368-6410

🔍 <http://begoodcafe.com/>

📍 担当：出町

## 活動名

アジア地域での回復力をデザインする  
VISIONSアジア  
レジリエンスフォーラム

## 助成活動紹介

VISIONSアジアレジリエンスフォーラムは、地球温暖化や気候変動に伴う災害増加に対応する、アジア諸国のグローバルなネットワーク形成を目指したフォーラムです。日本及びアジア各国の活動家を迎え、活動内容の共有や技術交流を目的としたワークショップやフィールドワークを行い、アジア地域をフィールドに活動する人のネットワーク促進及びブリッジセクターとしての役割を担うフォーラムとなりました。

## 3年間の成果

3年間を通して、タイ、インドネシア、フィリピンの3か国、および日本でのフォーラムを2回開催し、研究者やNPO/NGO、政府関係者や学生など、延べ781の方が参加されました。各フォーラムは2～3日に渡って行われ、登壇者・参加者が相互に交流しネットワークを広げる機会となりました。

## 団体から一言

担当者：出町まこ

ビーグッドカフェでは、環境問題をはじめ、防災や地域活性化を目指すイベントやフォーラム等の事業を行っています。

本事業では、国や専門領域の異なる方々が一堂に会し、ローカルな取り組みを学び合い、自国の活動に活かすことを目指してプログラム運営をしています。文化の異なる海外での開催で苦労もありましたが、有意義な機会を作れたことに感謝いたします。



## 連携・提携先

State of the MAP ASIA

## 情報求む！

現在のところ特になし



# 全国小水力利用推進協議会



研修は、座学・フィールド実習・発電所見学・全国大会への参加等で構成しました。写真は静岡市内の河川で行ったフィールド実習で、流量観測の技術を学んでいるところです。

- 東京都豊島区巢鴨2-11-4  
第三高橋ビル8階
- 03-5980-7880
- 03-5980-7065
- J-water.org
- 中島・向山

## 活動名

インテグレーション・スキルの育成による小水力発電事業の促進

## 助成活動紹介

再生可能エネルギー開発を地域主導で行い、収益を地域振興に活用し、経済の地域内循環を拡大する取り組みは全国で行われています。小水力発電の場合、技術面・制度面などで必要となる知識や経験の幅が広いいため、基礎知識と人的ネットワークを持つ人材（これを小水力開発インテグレーターと呼びます）が必要となります。全国で地域再生開発に関わっている方々を募り、研修を受けていただいて、それぞれの地域の小水力開発に取り組んでいただくための活動です。

## 3年間の成果

1期生（2014年度）14名、2期生11名、3期生6名の合計31名を受講生として採択し、また落選した方の中から自費参加の聴講生を募って研修会を実施しました。このうち1期生・2期生には昨年度と今年度の「フォローアップ研修」も受講いただきました。地域の具体的計画を題材にした研修もあり、地元の方の協力も得られるなど、インテグレーターを通じた開発の具体化に向けて進み始めています。

### 団体から一言

**担当者：中島大（事務局長）**

地球環境基金事業のおかげもあって、小水力利用の全国ネットワークが構築され、担い手となる人材（インテグレーター）も育ちつつあります。

2012年に始まった固定価格買取制度の下で地域発電所が生まれてきたことから、発電所のネットワークも整備し、開発・運用の技術・制度・経済などの情報交換や問題解決のためのネットワーク作りを構想しています。



## 連携・提携先

（一社）北海道再生可能エネルギー振興機構、富良野地域小水力発電普及協議会、奥羽山系仙北平野水資源調査研究会、NPO会津みしま自然エネルギー研究会、栃木県小水協、ぐんま小水力発電推進協議会、新潟県小水協、富山県小水協、福井小水協、山梨県小水協、長野県小水協、岐阜県小水協、奥飛騨温泉郷小水力推進研究会、NPOアースライフネットワーク、名張自然エネルギー推進協議会、関西広域小水協、吉野小水協、東吉野小水協、岡山県小水協、中国小水力発電協会、（一社）徳島地域エネルギー、愛媛県自然エネルギー利用推進協議会、高知小水協、熊本県小水協、鹿児島県小水協、ひおき小水力発電推進協議会

（注）団体名中の「小水力利用推進協議会」は「小水協」と略記した。



環境団体向けにセミナー開催

📍 東京都千代田区神田小川町3-28-13-404

☎ 03-3292-6464

📠 03-3292-6465

🔍 [HTTP://www.npo-moc.or.jp](http://www.npo-moc.or.jp)

👤 担当者: 桑原 良太

### 活動名

Co2削減を目指す節電・省電力啓蒙活動

### 助成活動紹介

- ① マンション(集合住宅)への、節電・省電力への取り組み支援
- ② 省電力に向けて、マンション電力系統への各種相談
- ③ 家電機器の節電への相談支援

### 3年間の成果

- ① マンション(集合住宅)への、節電・省電力への取り組み支援
- ② 省電力に向けて、マンション電力系統への各種相談
- ③ 家電機器の節電への相談支援

#### 団体から一言

担当者: 桑原 良太

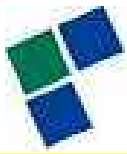
マンション(集合住宅)向けの、電力省電力の為に各種の支援活動を行っております。マンションでの管理組合様との連携や各種の専門会社様の技術も活用し集合住宅での、省電力に伴う節電意識の啓発にも取り組んであります。ぜひ、このような取り組みに賛同頂ければ、支援内容をご説明いたします。

#### 連携・提携先

日本テクノ株式会社  
笠原電機株式会社  
株式会社東光高岳  
昭和シエル石油株式会社  
YHS株式会社  
千葉市民活動支援センター  
松戸市民活動センター

情報求む!

ご要望のある集合住宅を求めます。



特定非営利活動法人

# 地域の未来・志援センター



2015年12月、西三河5市がそろって第1号として誓約

📍 名古屋市東区代官町39-18  
日本陶磁器センタービル5-D  
中部リサイクル運動市民の会内

☎ 052-936-3213

📠 052-982-9089

🔍 <http://www.c-mirai.org>  
<http://jpmayors.jp/>

👤 担当：萩原 喜之

## 活動名

日本版「首長誓約」による  
地域気候エネルギー政策確立支援事業

## 助成活動紹介

日本版「首長誓約」を通し、各地方自治体が独自のエネルギー政策を持つこと（地域のエネルギーのあり方は地域で決める）を促してきた。誓約項目は

1. エネルギーの地産地消
2. 温室効果ガスの大幅削減
3. 気候変動などへの適応

1～3に関する目標（2030年）とアクションプランの策定。自治体間のネットワーク化での取り組み。

## 3年間の成果

中部地域の地方自治体の首長及び担当部署、議員に対し、日本版「首長誓約」の案内を送付し説明会を開催した（2015年1月30日）。その参加者の中から、愛知県西三河9市1町の自治体と一年間勉強会を行ない、2015年12月12日、5市（岡崎市、豊田市、安城市、知立市、みよし市）が誓約。その後、長野県高山村が誓約（2016年8月11日）。誓約した自治体は、現在、アクションプランの策定に取り組んでいる。

団体から一言

担当者：理事 萩原 喜之

日本の環境行政が2011年以降漂流する中、危機感を持って取り組んできました。新たな動機付けが必要と思い続けた3年でした。








## 連携・提携先

名古屋大学大学院環境学研究科・  
持続的共発展教育研究センター





山形県内の住民・NPO・企業でつくりあげた市民地域共同太陽光発電所  
場所：山形県川西町 設備規模：200kW

-  山形県山形市上桜田3-2-27
-  023-679-3340
-  023-679-3389
-  <http://eny.jp/>
-  山田幸司（再生可能エネルギー担当）

### 活動名

山形県・村山地域における  
市民参加型再生可能エネルギー  
普及推進活動

## 助成活動紹介

地球温暖化防止のため、省エネルギーの推進とともに再生可能エネルギーの普及促進が重要です。山形県内の地域・市民の参加を促し、地域特性に適した再生可能エネルギーの導入を促進し、地域の資源の活用や持続的な地域経済や雇用促進、文化や生活向上に寄与していくこと、また地方の行政機関やNPO等の市民団体の活動へ理解や市民参加の重要性を認知してもらう事を目的としています。そこで有識者・行政・環境NPO等がなどの協力を経て、市民参加による再生可能エネルギー事業の検討や支援、情報収集・発信、調査・研究・助言、普及啓発等を目的とした「やまがた市民参加型再生可能エネルギー普及推進協議会」を設置し、山形県・村山地域における市民参加型の再生可能エネルギー普及推進に関する活動を進めています。

## 3年間の成果

当事業で様々な団体や県民、行政との協議を経て、平成27年4月13日にNPO、民間企業、個人32名の出資により「やまがた県民自然エネルギー株式会社(資本金2710万円)」を設立しました。その後、平成27年10月に、これまで検討していた太陽光発電事業(204kW)がはじまっています。これら再生可能エネルギー事業の実践により事業計画の作成プロセスや事業運営ノウハウなど課題を整理し、他の事業への普及推進に努めています。

### 団体から一言

#### 担当者：山田幸司

私たちは同じ東北の地において起きた福島第一原発事故原発事故の教訓を忘れることなく、省エネルギーと再生可能エネルギーの推進に取り組んでいきます。また再生可能エネルギーは、地方に残された貴重な資源であり、地域主導で活用していくことが大切であると考えています。そこで、次のような目標を携えて活動しています。



- ・再生可能な山形の資源を使い、原発にも石油にも頼らない安全な日本を山形からつくる。
- ・山形の再生可能エネルギーは、山形の企業・組織・個人が主体となって、地域の持続可能な社会的・経済的発展につながるよう活用する。
- ・山形の自然資源を活かしてきた農林漁業者とともに、再生可能エネルギーの活用に取り組んでいく

## 連携・提携先

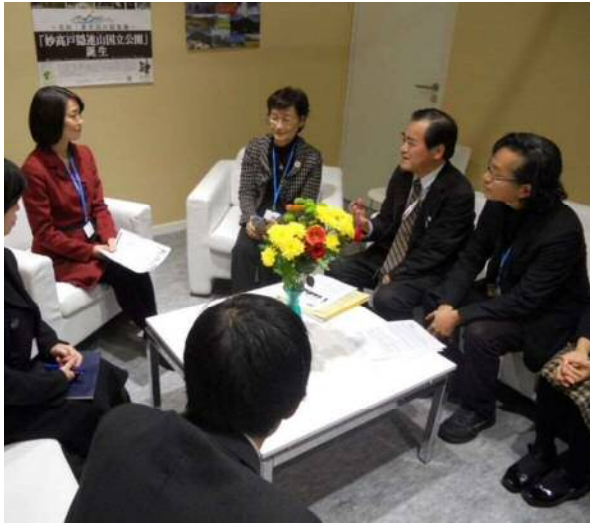
- ・NPO法人環境ネットやまがた
- ・NPO法人知音
- ・東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科三浦秀一研究室
- ・山形県 村山総合支庁 保健福祉環境部 環境課
- ・村山地域地球温暖化対策協議会
- ・山形市環境部環境課 他

## 情報求む！

自然エネルギーに関心があって具体的な活動を行いたい方、自然エネルギーを地域の活性化に結び付けたい方など、山形をフィールドに、いっしょに再生可能エネルギーの普及活動をしませんか？



# Climate Action Network Japan (CAN-Japan)



気候変動交渉について環境大臣と意見交換（COP21パリ会議にて）

- 京都府京都市中京区帯屋町574番地  
高倉ビル305
- 075-254-1011
- 075-254-1012
- <http://www.can-japan.org>
- 伊与田（いよだ）

## 活動名

気候変動国際交渉における  
環境NGOの国内外の連携強化

## 助成活動紹介

気候変動問題を解決するための国際合意の実現を促進するため、国連気候変動交渉（COPなど）への参加や政策提言、日本における情報発信、国内外の気候変動NGOのネットワークづくり・連携強化に取り組みました。特に、2015年COP21パリ会議を成功させることが焦点でした。

## 3年間の成果

国連気候変動交渉への参加と提言を積み重ね、合意実現の気運を高めた結果、2015年に開催されたCOP21パリ協定、温暖化防止の新しい国際条約「パリ協定」が採択され、2016年11月4日に発効し、出遅れた日本も11月8日に締結しました。パリ協定は世界の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることをめざして対策を強化し続けることを求める画期的な国際制度です。今後はパリ協定の意義を日本国内で共有し、対策強化を進めることが課題です。

### 団体から一言

#### 担当者：伊与田昌慶

CANは、世界で気候変動問題の解決のために活動する120ヶ国・1100団体からなるNGOのネットワークです。CAN-Japanは、CANの日本での集まりで、14団体からなり、国連気候変動交渉に参加し、国際的NGOネットワークと連携しながら政策提言や情報発信に取り組んでいます。



パリ協定の意義をわかりやすく解説したパンフレットを制作しました。お送りしますので、ご希望の方はご連絡ください。

## 連携・提携先

350.org Japan、自然エネルギー財団、レインフォレスト・アクション・ネットワーク日本代表部、環境エネルギー政策研究所（ISEP）、「環境・持続社会」研究センター（JACSES）、地球環境市民会議（CASA）、国際環境NGO FoE Japan、コンサベーション・インターナショナル・ジャパン、グリーンピース・ジャパン、オックスファム・ジャパン、WWFジャパン、気候ネットワーク、Office Ecologist、ピースポート

## 情報求む！

最新の情報や専門的な分析を共有しながら危険な気候変動を止めるために戦略的に活動するグローバルなネットワーク、CANへの参加を希望される団体の方はご連絡ください。

[secretariat@can-japan.org](mailto:secretariat@can-japan.org)





スリランカ中部にて、降水パターンの変化と農業への影響について聞き取り。

〒173-0037 東京都板橋区小茂根  
1-21-9  
☎ 03-6909-5983  
☎ 03-6909-5986  
🔍 <http://www.foejapan.org>  
👤 吉田 明子

## 活動名

気候変動／温暖化の影響による損失と被害に関する国際メカニズムの強化

## 助成活動紹介

気候変動影響による「損失と被害」を受ける地域や人々を救済するための国際メカニズムが、実効性のある、かつ弱者の立場を配慮した制度となるため、国連、国際機関、日本および各国政府に対して提言活動を行う。

また、特にアジア地域において、気候変動の影響を受けるコミュニティの状況について訪問調査し、その様子をショートビデオなどで国内外の市民社会に伝える。また、国際協力団体と連携し、「Climate Justice（気候正義）」の概念を広く共有する。

## 3年間の成果

国連気候変動交渉では、2015年のCOP21パリ会合で、「気温上昇を1.5℃までに抑える」など合意されたほか、「損失と被害」についても条項として書きこまれる。スリランカ、フィリピン、インドネシアの現地調査の様子をまとめたショートビデオも活用し、世論喚起、普及啓発や日本の気候変動政策への提言の際に、「Climate Justice」を強調してきた。SDGsとの接点・協働もさぐり、国際協力団体との対話を重ねた。2016年にはアジア各国の参加者を迎え国際シンポジウムを開催した。

### 団体から一言

#### 担当者：吉田明子

FoE Japanは、気候変動の、特に途上国への影響、Climate Justiceに注目して以前より活動してきました。

3年間の活動をへて、また2015年のパリ協定成立を受けて、気候変動に取り組む団体はもちろん、国際協力団体や各地の市民団体とも連携することができました。

また原発事故を経験した日本として、省エネルギー・再生可能エネルギーの方向に本気で舵を切ることができるよう、活動を続けたいと思います。



## 連携・提携先

- ・アジア各国の環境団体：スリランカ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ネパールなど
- ・国際協力団体など：オックスファム・ジャパン、動く→動かす、アジア太平洋資料センター（PARC）、国際青年環境NGO A SEED JAPANなど
- ・気候変動に取り組む団体：CAN Japan、気候ネットワーク、環境エネルギー政策研究所など

## 情報求む！

気候変動に関心のある学生の方など、インターン・ボランティアを歓迎しています。

# 中部壘商連合会



リユースびんを知ってもらう為の実証実験に使用したチラシ

- 愛知県名古屋市港区正保町8-8
- 052-381-6201
- 052-381-6205
- ホームページURL
- (株)安田商店 星原

## 活動名：

環境・経済・社会を統合するびんリユース推進に向けたシステム再生・再構築に向けた実践

## 助成活動紹介

「地域経済・文化に根差したびんリユースシステムの構築」のため、びんリユースの推進を図り、びんリユースが地域の様々な課題の解消に貢献する方策を検討・実践することを目的とした活動を行っています。

## 3年間の成果

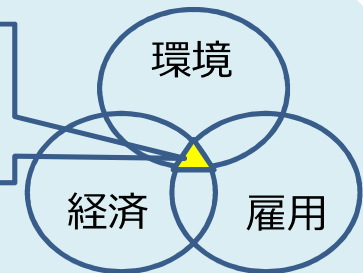
### ①「東海地域びんリユース推進協議会」の設立

この協議会は壘商や酒造組合、またクレートレンタル事業者や大学、NPO法人、各行政機関等、他地域でも稀にみる多分野の参加者から構成され、びんリユースを進めるためのネットワークが形成された。

### ②「名古屋びんリユースビジネスモデル」の構築

新びんを扱っている酒造等の中身メーカーに対して、リユースびんを使用してもらい、その商品（酒）を東海地域で数店舗チェーン展開している料飲店で販売してもらうことができた。

地域課題を解決するツールとしてのリユース



## 団体から一言

担当者：星原 匡貴

愛知・岐阜・三重・静岡（の一部）のびん商（空びんを回収・選別・洗浄し、酒造・飲料事業者等に戻す商い）が集まって形成されている団体です。



リユース推進洗隊ゴビンジャー

## 連携・提携先

- ・名古屋大学
- ・中部リサイクル運動市民の会
- ・酒造組合
- ・びんリユース推進全国協議会
- ・新日本流通(株)
- ・環境省中部地方環境事務所
- ・愛知県
- ・名古屋市

## 情報求む！

びんリユースの更なる連携組織・団体  
酒瓶以外のびんリユースを進めるアイデア等



# 次世代のためにがんばる会



八代市役所吏員向け「ごみ減量学習会」と「もったいなか箱」説明会

- 熊本県八代市通町6-43
- 0965-32-5081
- 0965-32-2528
- <http://ganbarokai.com/>
- 松浦ゆかり

## 活動名

八代地域における循環型社会へ向けた  
ごみ減量・生ごみ堆肥化推進活動

## 助成活動紹介

熊本県八代地域における焼却炉の老朽化に伴うごみ処理問題で窮地に陥っている八代市で、市民と行政・教育現場が一体となった資源利用抑制・資源分別・再利用(生活ごみ・生ごみ減量化)・不法投棄などの改善に取り組むプロジェクトチームを発足し、①市民アンケートによる情報誌作成。②ごみ現状と対策のDVD4種類制作。③八代市ごみ対策課共同で幼児教育からのごみ減量ESD教育出前授業開催。④生ごみ処理箱『もったいなか箱』の基材研究・利活用推奨。⑤生ごみ堆肥を利用した実験農園での収穫祭(年2回)。⑥講演会・シンポジウムの開催。⑦リユース食器無料貸し出しの充実。⑧八代市長へのごみ減量提言書提出等を実施。

## 3年間の成果

八代市役所共同体制でごみ減量を推進中。教育関係でも市共同出前授業で、資源循環型社会を構築中。

**実績:**①もったいなか箱130個(3年)・もったいなか箱大型3個、総合計年間163tのごみ減量(平成27年度)。

- ②市役所との協議会を3回行い、市長に提言し、生ごみ処理箱利用者への助成金が採択。
- ③生ごみ処理箱の常設展示: 公的機関や物産館など7か所で展示中。
- ④無償で年3回収穫学習・現場での実技指導、巡回メンテナンスを約250軒(3年)実施中。
- ⑤広報媒体DVD(4本)を作成し、学習会(学校・一般約180箇所(3年))で活用中。

## 団体から一言

**担当者: 代表 松浦 ゆかり**

循環型社会へ向けたこの活動は、何度も何度も口が酸っぱくなるまで言い続けなければ、人は動かすことができません。

たかがごみ問題でありながら、グローバルな食品ロス問題や、マイクロプラスチック問題まで、めぐり巡って人間に影響を及ぼすものばかりです。

これからも、幼少のころからのESD教育と、子どもから大人への啓発を続けていきます！



## 連携・提携先

熊本県南広域本部・八代市・八代市教育委員会・熊本大学・熊本高専八代キャンパス・崇城大学・八代農業高校・八代農業高校泉分校・やつしろハーモニーホール・八代よかとこ物産館・どてかぼちゃ(生産直売所)・マーブル(生協会館)

## 情報発信を求む！

入門から4年間、様々なアイデアを出し合い、すべて実践してきました。活動の中で、世代間地域間交流もでき、やりがいのある活動になりました。ただ、これまでの成果の効率的な可視化についての情報発信が上手にできておりません。是非、皆様に情報発信をしていただきたいので、よろしくお願いいたします。

# ふくしま市民発電



📍 福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3

☎ 0244-64-2042

📠 0244-64-2042

🔍 <http://fcpower.org/>

👤 土屋 真美子

## 活動名

エコシティ相馬を担う人材育成

## 助成活動紹介

相馬市において、再生可能エネルギーの意義を若い世代に浸透させるとともに、省エネの重要性を発信する。具体的には、小学生向けの電気エネルギーについて勉強する再生可能エネルギープロジェクトと、中学生対象の省エネ教室と施設の省エネ診断などの省エネ活動、そして先進事例の調査等を実施した。

## 3年間の成果

小学生向けプロジェクトは、徐々に参加者も増え、親子での参加に発展した。省エネ教室は1中学校のプロジェクトとなり、中学校の省エネが実現した。また、施設の省エネ活動も具体化し、子どもから大人まで、再生可能エネルギーと省エネの意義を発信でき、エネルギーについての感度の高い人材育成が実現できた。

## 団体から一言

**担当者：土屋真美子**

小・中学生向けのプロジェクトは、中高年中心のグループなので、試行錯誤でした。が、毎年工夫を重ねて、一歩ずつですが、信頼関係を築くことができたのではないかと考えております。



## 連携・提携先

一般社団法人 地域資源発掘A S A A  
相馬市立玉野中学校  
省エネルギーセンター 等

